

文部科学大臣 萩生田光一 様
文化庁長官 宮田亮平 様

私は、文化庁によるあいちトリエンナーレへの補助金の不交付決定について強く抗議し、不交付決定を取り消すことを要望します。

正式な審査を経て採択された補助金交付です。それを不交付とすることは、貴庁の採択の審査や、制度そのものに対する不振が問われます。

もし、あいちトリエンナーレ側の不備が疑われた場合、事業者への聞き取り、事実関係の調査、企画内容の検証など、事業者との十分な話合いと検討の上での決定であるならば理解できますが、今回貴庁は全くそれを怠っています。さらに、一度決定したものを覆すということに対して、十分な判断資料を国民に公開する義務があります。今回の検討の见えない、不透明な決定は強行的であり、検閲と受け止められても仕方ありません。

私は、2013 年度文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門で優秀賞を受賞しました。その後、文化庁主催の展示で作品を3度発表させてもらいました。さらに、現在も文化庁の助成が一部入っている芸術祭へ参加し、滞在製作を行っています。貴庁が、日本の文化の発展の為に担ってきた支援や助成への積み重ねを理解しております。

だからこそ、現政権や政府の為の庁ではなく、国民の表現や活動に寄り添い、たとえ政府に対してでも、文化の上に置いては、公平な発言ができる庁でいて欲しいと願います。

安藤僚子
2019 年 10 月 7 日